

中央区総合交通計画 改定素案

令和〇（202X）年〇月

中央区

目 次

計画編.....	1
1. 中央区総合交通計画とは	2
1.1 中央区総合交通計画の目的と背景.....	2
1.2 位置付け.....	3
2. 中央区の現況	4
2.1 中央区の概況	4
2.2 区内の交通.....	14
3. 中央区の交通に関する課題.....	48
4. 交通の基本理念・目標及びまちの将来イメージ.....	50
4.1 目標	51
4.2 中央区が目指す交通まちづくりのイメージ.....	52
5. 中央区総合交通計画の実現に向けた施策	53
5.1 施策の設定	53
5.2 施策と事業の内容	54
戦 略 編	56
6. 実施する施策と事業.....	57
6.1 施策と事業一覧.....	57
6.2 事業プログラム.....	57
6.3 令和4年度の事業（短期プログラム）	57
7. 計画推進に向けた取り組み・推進体制.....	58
7.1 計画推進に向けた取り組み.....	58
7.2 推進体制.....	59

7.3 区民・地元企業を含めた関係者の共働	59
8. 施策・事業の評価	60
参 考 資 料.....	61
資料1 中央区地域公共交通会議・交通戦略部会 構成員名簿	62
資料2 審議経過.....	62

計画編

1. 中央区総合交通計画とは

1.1 中央区総合交通計画の目的と背景

中央区総合交通計画は、人口増加に伴って増大する交通需要への対応や、交通弱者等の移動の支援などの都市交通課題を解決することを目的として、平成24年6月に策定されました。

中央区は本計画を交通政策のマスタープランとし、交通政策を総合的に推進するための各種施策を「計画編」に、その実行スケジュールや役割分担を「戦略編」にまとめ、これまでさまざまな施策に取り組んできました。

一方、計画策定後10年が経過し、この間、本計画の上位計画となる「中央区基本構想」（平成29年6月）、「中央区基本計画2018」（平成30年3月）が改定されました。

また、都心部・臨海地域地下鉄構想の交通政策審議会答申への位置付け（平成28年4月）や、環状第2号線の暫定開通（平成30年11月）、東京BRTのプレ運行（一次）の開始（令和2年10月）など、本区を取り巻く交通環境も大きく変化しています。

さらに、ゼロカーボンシティの取り組みの拡がりを始め、コロナ禍を契機とする個別配送サービスの需要拡大や、テレワーク等の普及による公共交通機関の経営への影響など、社会情勢の変化も交通政策に新たな課題をもたらしています。

このような状況を踏まえ、令和3年度には、改定年次を迎える「戦略編」の改定に加え、「計画編」の一部見直しを併せて行うこととしました。

この新たな中央区総合交通計画のもと、中央区基本構想に掲げる本区の将来像である「輝く未来へ橋をかける ― 人が集まる粋なまち」の実現に向けた取り組みをより一層加速してまいります。

1.2 位置付け

本計画は、「中央区基本構想」及び「中央区基本計画 2018」を上位計画とするとともに、地区計画や「中央区環境行動計画 2018」等区の計画及び『『未来の東京』戦略ビジョン』や「東京都長期ビジョン」等東京都の計画を関連計画とし、区の将来像を実現するための計画です。対象地域は中央区全域とし、徒歩、自転車、公共交通、自動車、物流等の交通全般に関する今後のあるべき姿を示しています。

計画編は、中長期を見越した交通のあるべき姿や方向性、その実現のための方針や方法の大枠を示すものであり、計画期間を 20 年間とします。戦略編は、短・中期の間に実施すべき施策とその役割分担等を示す実行計画であり、計画期間を 10 年間とします。

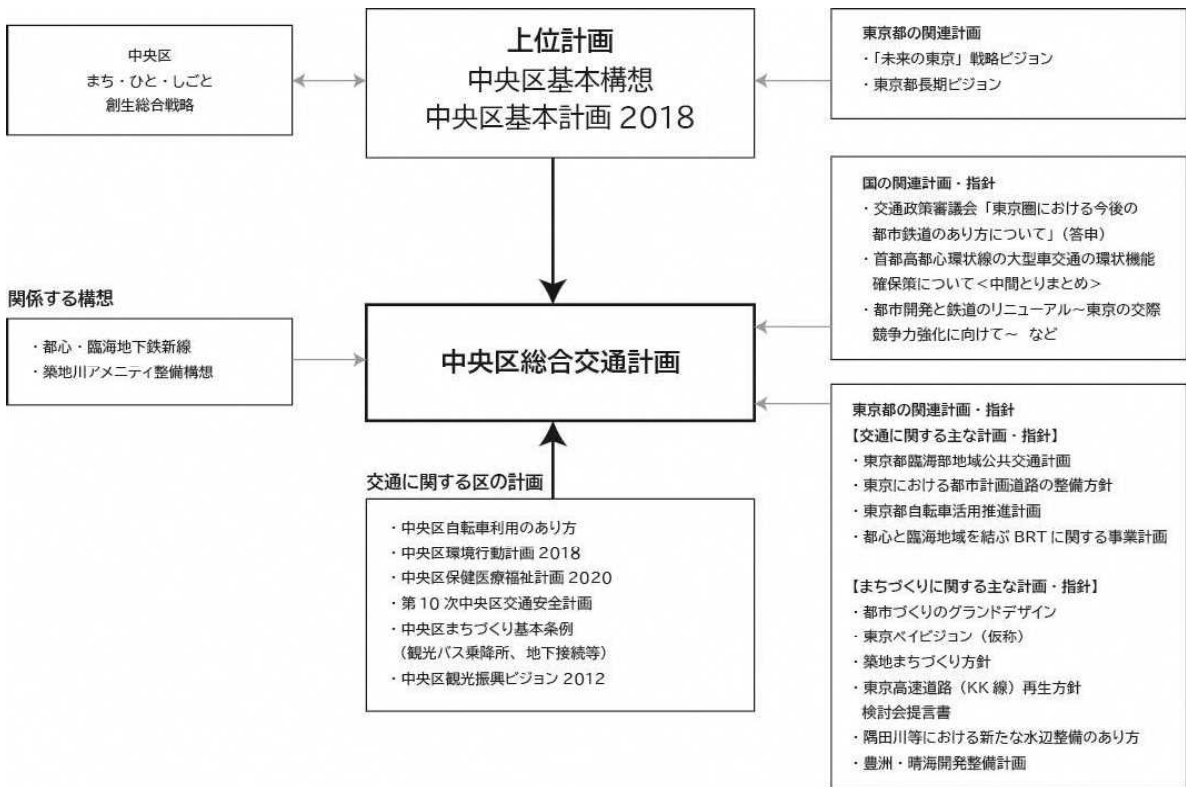


図 1 中央区総合交通計画の位置付け

表 1 中央区総合交通計画の対象区域・対象とする交通・計画期間

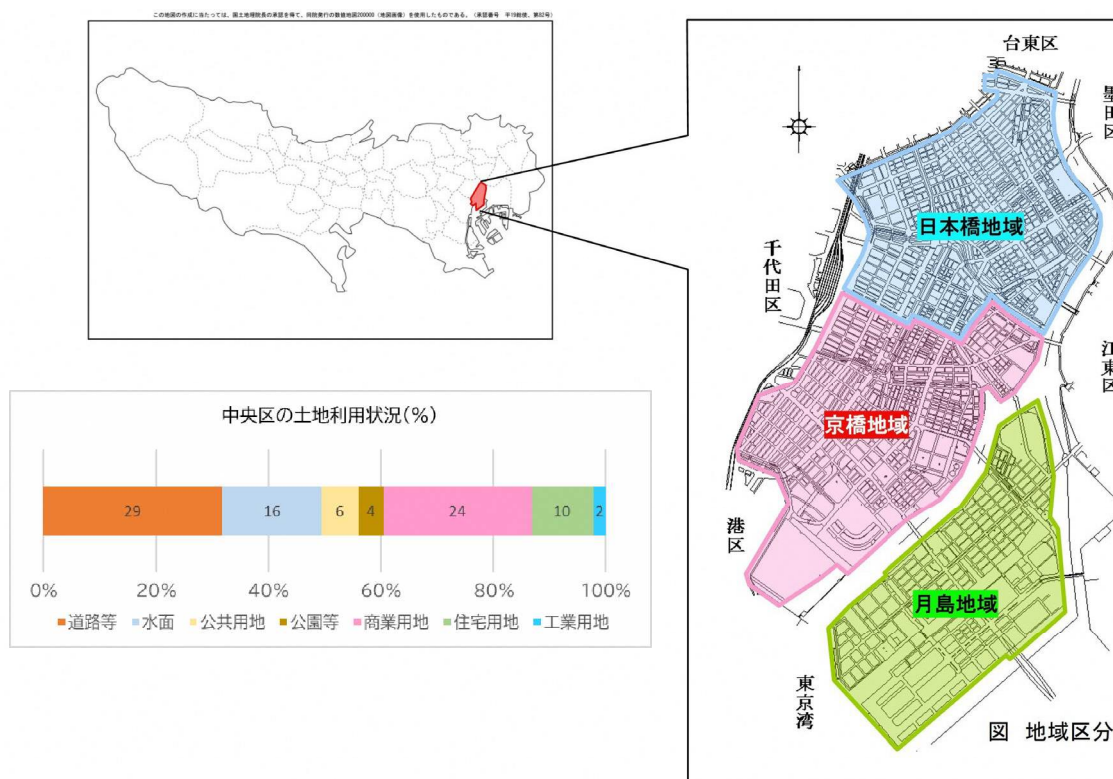
対象区域	中央区全域	
対象とする交通	徒歩、自転車、公共交通、自動車、物流等	
計画期間	計画編	平成 24 (2012) 年度から令和 13 (2031) 年度まで (20 年間)
	戦略編	令和 4 (2022) 年度から令和 13 (2031) 年度まで (10 年間)

2. 中央区の現況

2.1 中央区の概況

2.1.1 地勢

- 中央区の面積は約 10.115km²で、東京都総面積の約 0.46%、区部総面積の約 1.61%を占めています。これは、23 区で 2 番目に小さい面積です。
- 東京 23 区のほぼ中央に位置し、5区(千代田・港・台東・墨田・江東)と接しています。また、東側は隅田川、北側は神田川、南側は東京湾に接し、区内を日本橋川と亀島川が流れており、水面・河川の面積は区面積の約 16.5%を占めています。
- 本区は、京橋地域、日本橋地域、月島地域の3地域から構成されています。
- 大部分の土地は、江戸時代以降の埋め立てによりできたため、起伏にとぼしく傾斜は緩慢です。
- 土地利用の割合は、道路等が約 29%、水面が約 16%、公共用地が約 6%、公園等が約 4%あり、公共系の土地利用が約 57%を占めています。そのほかは、商業用地が約 24%、住宅用地が約 10%、工業用地が約 2%となっています。隅田川及び神田川の河川部を除く区全域が市街化区域となっており、用途地域区分は大半が商業地域となっています。



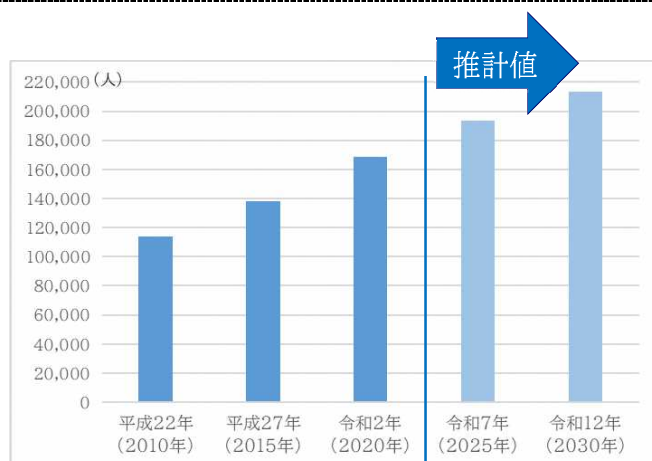
資料：地域区分（中央区、令和 3（2021）年）
東京の土地利用 平成 28 年東京都区部（東京都、平成 28 年）を基に作成

図 2 地域区分と土地利用状況

2.1.2 人口

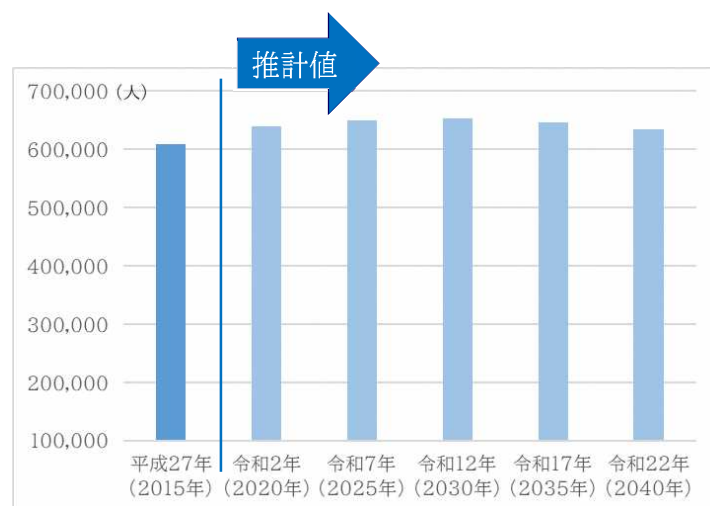
(1) 概況

- 人口は、平成 22(2010)年時点で 11 万人をやや上回っていましたが、定住人口回復施策と近年の都心回帰現象との相乗効果により増加傾向が続き、令和 2(2020)年には 16 万人を超えています。
- 今後も増加を続け、令和 12(2030)年には 20 万人を上回ると予測されています。
- 昼間人口は約 60 万人あり、都心の業務機能や都市活動を支えています。当面現在と同程度の規模で推移し、将来的には緩やかに減少していくものと予想されています。



資料：中央区将来人口の見通しについて（人口推計）（中央区、令和 3（2021）年 1 月）を基に作成
* 令和 2（2020）年までは住民基本台帳による実績値
* 令和 7（2025）年以降は「中央区将来人口の見通しについて（人口推計）（中央区、令和 3（2021）年 1 月）」に基づく推計値

図 3 夜間人口の推移

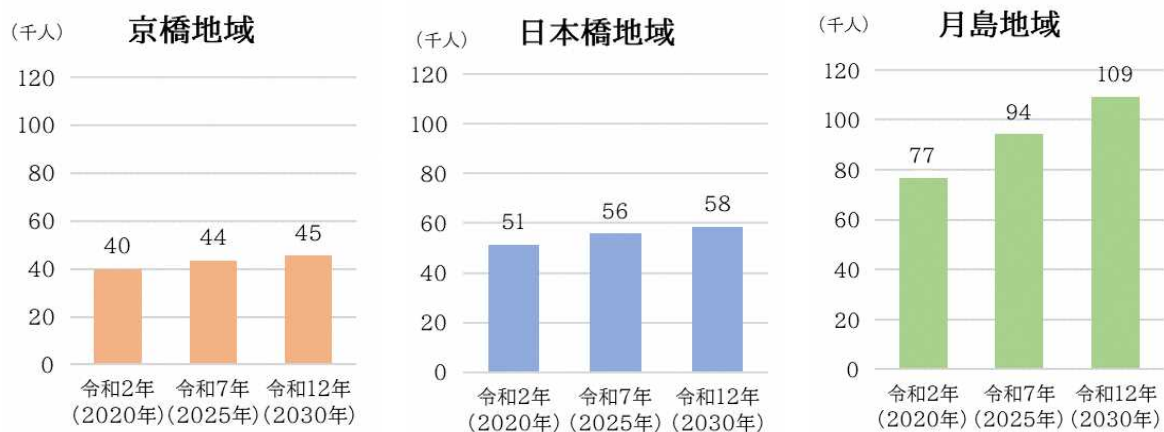


資料：東京都昼間人口の予測（東京都、令和 2 年 3 月）を基に作成
* 基準人口は平成 27（2015）年 10 月 1 日の総務省統計局「平成 27 年国勢調査」による数値

図 4 昼間人口の推移

(2) 地域別の人口

- 京橋、日本橋及び月島の各地域ではいずれも、引き続き人口が増加すると予想されています。
- 区内においては、再開発事業が多く計画されており、今後も人口の増加が予想されています。
- 特に、月島地域においては、勝どき・晴海を中心に人口増加が見込まれており、人口増加に対応できる交通環境の整備が必要となります。



資料：中央区将来人口の見通しについて（人口推計）（中央区、令和3（2021）年1月）を基に作成
* 令和2（2020）年は住民基本台帳による実績値
* 令和7（2025）年以降は「中央区将来人口の見通しについて（人口推計）（中央区、令和3（2021）年1月）」に基づく推計値

図 5 地域別夜間人口の推移

令和2年度市街地再開発事業等地区（完了地区を含む）

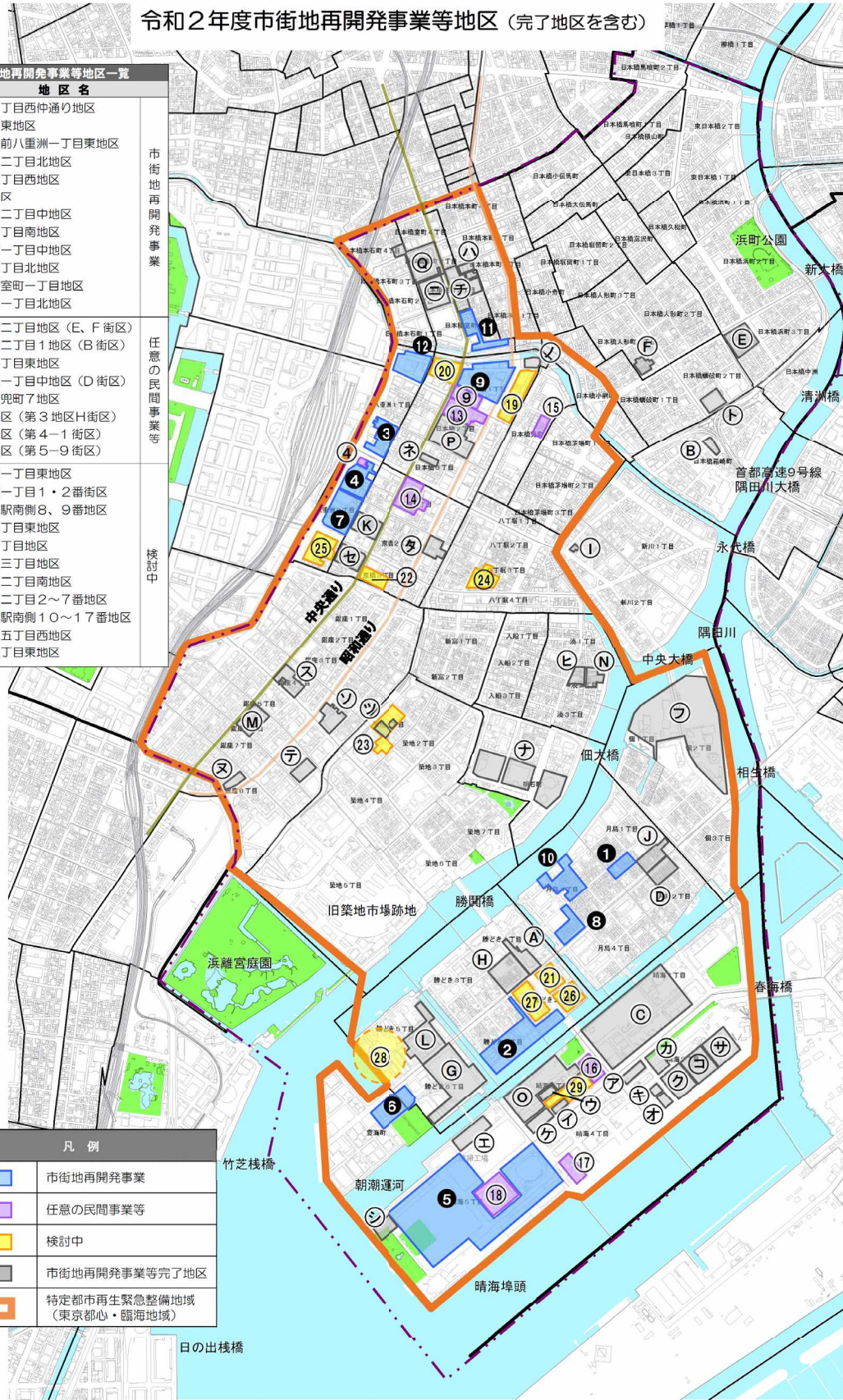
市街地再開発事業等地区一覽	
No.	地区名
1	月島一丁目西仲通り地区
2	勝どき東地区
3	東京駅前八重洲一丁目東地区
4	八重洲二丁目北地区
5	晴海五丁目西地区
6	豊海地区
7	八重洲二丁目中地区
8	月島三丁目南地区
9	日本橋一丁目中地区
10	月島三丁目北地区
11	日本橋室町一丁目地区
12	八重洲一丁目北地区
13	日本橋二丁目地区（E、F街区）
14	八重洲二丁目1地区（B街区）
15	京橋一丁目東地区
16	日本橋一丁目中地区（D街区）
17	日本橋兜町7地区
18	晴海地区（第3地区H街区）
19	晴海地区（第4-1街区）
20	晴海地区（第5-9街区）
21	日本橋一丁目東地区
22	勝どき駅南側8、9番地区
23	京橋三丁目東地区
24	築地一丁目地区
25	八丁堀三丁目地区
26	八重洲二丁目南地区
27	勝どき二丁目2~7番地区
28	勝どき駅南側10~17番地区
29	勝どき五丁目西地区
30	晴海三丁目東地区

市街地再開発事業

任意の民間事業等

検討中

凡例	
	市街地再開発事業
	任意の民間事業等
	検討中
	市街地再開発事業等完了地区
	特定都市再生緊急整備地域（東京都心・臨海地域）

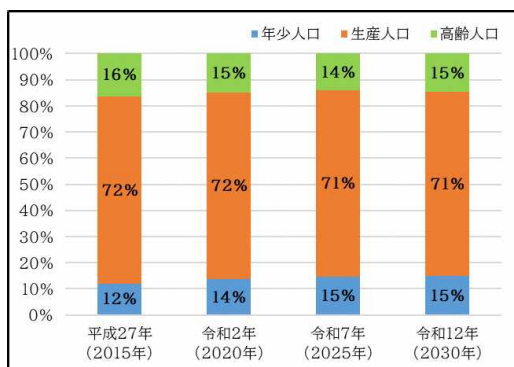


資料：再開発事業地区（中央区、令和2（2020）年）を基に作成

図6 再開発事業地区

(3) 年齢別人口

- 中央区の高齢化率は、令和 2(2020)年時点で 15%であり、全国平均(28%)と比較して低くなっています。10 年後の令和 12(2030)年も同程度で推移することが予測されています。
- 高齢者の人口は平成 27(2015)年の約 2 万 3 千人から 15 年後にはおよそ 1.4 倍の 3 万 1 千人を超えると予測されています。

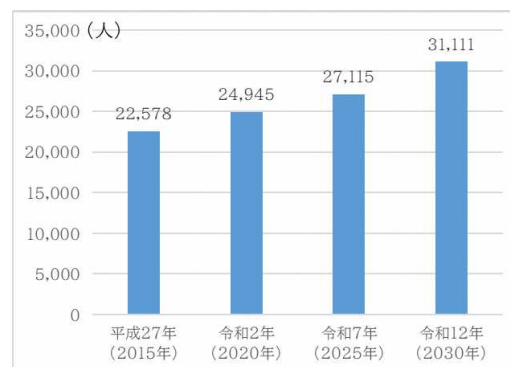


資料：中央区将来人口の見通しについて（人口推計）（中央区、令和 3（2021）年 1 月）を基に作成

* 令和 2（2020）年までは住民基本台帳による実績値

* 令和 7（2025）年以降は「中央区将来人口の見通しについて（人口推計）（中央区、令和 3（2021）年 1 月）」に基づく推計値

図 7 中央区の年齢階層別人口割合の推移

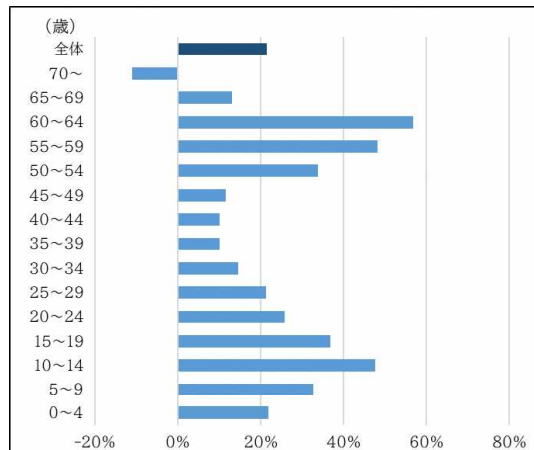


資料：中央区将来人口の見通しについて（人口推計）（中央区、令和 3（2021）年 1 月）を基に作成

* 令和 2（2020）年までは住民基本台帳による実績値

* 令和 7（2025）年以降は「中央区将来人口の見通しについて（人口推計）（中央区、令和 3（2021）年 1 月）」に基づく推計値

図 8 中央区の高齢者人口の推移



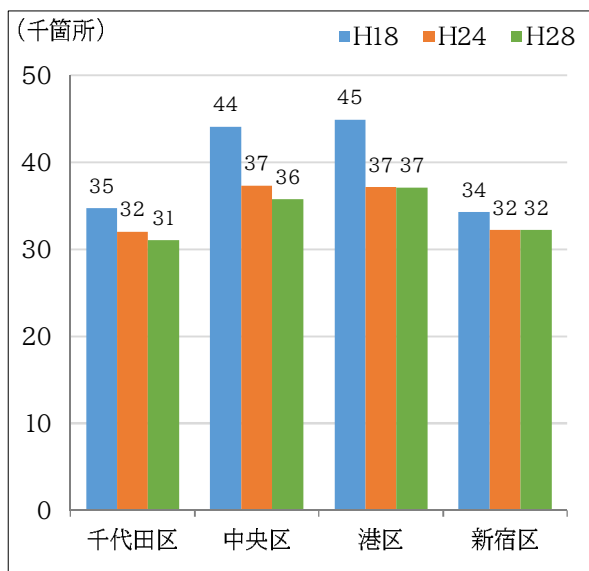
資料：住民基本台帳による東京都の世帯と人口（町丁別・年齢別）（東京都、令和 3 年 1 月）、住民基本台帳による東京都の世帯と人口（町丁別・年齢別）（東京都、平成 27 年 1 月）を基に作成

図 9 中央区の年齢別人口の増減率（平成 27（2015）年、令和 3（2021）年）

2.1.3 産業

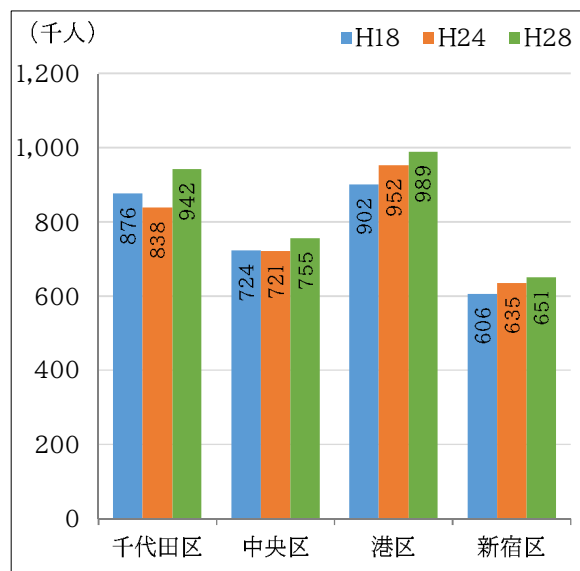
(1) 産業機能

- 区内の事業所数は、平成 18(2006)年時点では約 4 万 4 千事業所でしたが、平成 28(2016)年には、3 万 6 千事業所と減少しています。
- 事業所数は減少傾向にありますが、従業員数は平成 28(2016)年に約 76 万人であり、平成 18(2006)年時点と比較すると増加しています。



資料：平成 18 年度事業所・企業統計調査（統計局、2007 年 12 月）、平成 24 年経済センサス 活動調査（統計局、2014 年 2 月）、平成 28 年経済センサス 活動調査（統計局、2018 年 6 月）を基に作成

図 10 都心 4 区の仕事所数の推移

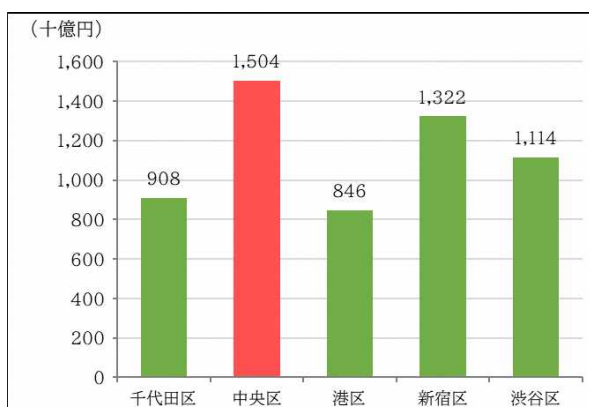


資料：平成 18 年度事業所・企業統計調査（統計局、2007 年 12 月）、平成 24 年経済センサス 活動調査（統計局、2014 年 2 月）、平成 28 年経済センサス 活動調査（統計局、2018 年 6 月）を基に作成

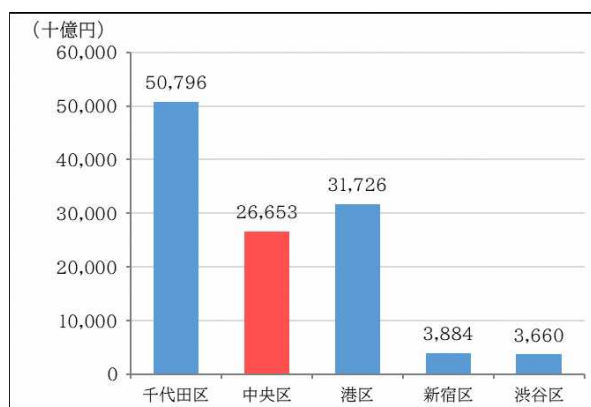
図 11 都心 4 区の仕事員数の推移

(2) 商業機能

- 商店街は中央区全体に分布し、特に日本橋、八重洲、銀座一带に百貨店と娯楽業、飲食業が集中しています。
- 区内の小売業の年間商品販売額は都内第1位となっています。(中央区の小売業の年間商品販売額:約1兆5千億円)
- 区内の卸売業の年間商品販売額は都内第3位となっています。(中央区の卸売業の年間商品販売額:約27兆円)
- 都内の商業集積地区の年間商品販売額上位10において、銀座が第1位、室町が第7位となっています。



資料：平成26年商業統計（経済産業省、平成27年12月）を基に作成



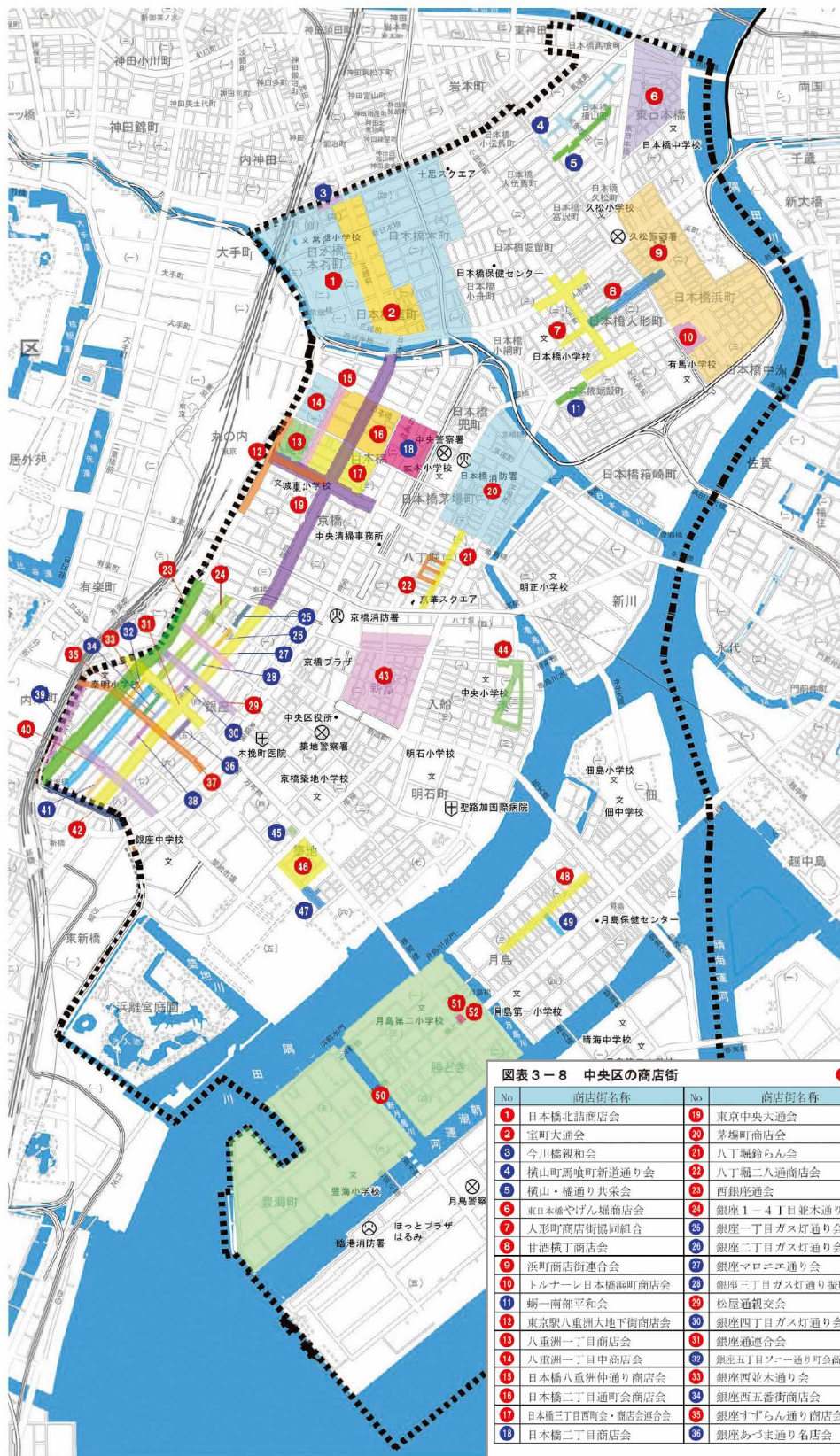
資料：平成26年商業統計（経済産業省、平成27年12月）を基に作成

図12 都心5区の小売業の年間商品販売額 (平成26年) 図13 都心5区の卸売業の年間商品販売額 (平成26年)

表2 都内商業集積地区の年間商品販売額上位10 (都内)

順位	区市町村名	商業集積地区名	集積細分	年間商品販売額	事業所数	従業員数	売り場面積	大規模小売店舗数
1	中央区	銀座地域	12	537,919	614	9,680	174,307	196
2	豊島区	池袋駅東口	11	354,707	387	6,992	149,541	243
3	新宿区	新宿駅西口	11	349,681	355	6,241	132,202	258
4	新宿区	新宿3丁目	11	311,421	141	4,111	86,609	100
5	渋谷区	恵比寿1・2・4丁目周辺	13	198,789	20	775	1,005	-
6	渋谷区	渋谷公園通商店街	11	184,561	192	2,766	90,284	117
7	中央区	室町地域	12	169,938	84	2,033	65,063	46
8	豊島区	池袋駅西口	11	152,778	235	3,637	103,572	129
9	千代田区	東京駅商店街	11	120,762	200	2,365	57,323	40
10	千代田区	秋葉原	11	94,172	214	2,359	41,301	46

資料：平成26年商業統計（経済産業省、平成27年12月）を基に作成



図表 3-8 中央区の商店街

● 区商連加盟 ● 区商連非加盟

No	商店街名称	No	商店街名称	No	商店街名称
1	日本橋北詰商店会	16	東京中央大通会	37	銀座みゆき通り美化会
2	室町大通会	20	茅場町商店会	38	銀座六丁目すずらん通り会
3	今川橋親和会	21	八丁堀鈴らん会	39	銀座コリドー通り会
4	横山町馬喰町新道通り会	22	八丁堀二人通商店会	40	銀座花椿通り会
5	横山・橋通り共栄会	23	西銀座通会	41	銀座金春通り会
6	東日本橋やげん場商店会	24	銀座1-4丁目並木通り会	42	銀座ナイン出店者会
7	人形町商店街協同組合	25	銀座一丁目ガス灯通り会	43	新富商栄会
8	甘酒横丁商店会	26	銀座二丁目ガス灯通り会	44	湊連合商栄会
9	浜町商店街連合会	27	銀座マロニエ通り会	45	築地共栄商業協同組合
10	トルナーレ日本橋浜町商店会	28	銀座二丁目ガス灯通り家賃会	46	築地場外市場商店街振興組合
11	蛸一南平和会	29	松屋通親交会	47	築地海幸会
12	東京駅八重洲大地下街商店会	30	銀座四丁目ガス灯通り会	48	月島西仲共栄会商店街振興組合
13	八重洲一丁目商店会	31	銀座通連合会	49	月島中央会
14	八重洲一丁目中商店会	32	銀座五丁目ソニー通り町会商店会	50	勝どき商栄会
15	日本橋八重洲仲通り商店会	33	銀座西並木通り会	51	月島蔵栄商業協同組合
16	日本橋二丁目町会商店会	34	銀座西五番街商店会	52	勝どきサンスクエア商店会
17	日本橋三丁目町会・商店会連合会	35	銀座すずらん通り商店会		
18	日本橋二丁目商店会	36	銀座あづま通り名店会		

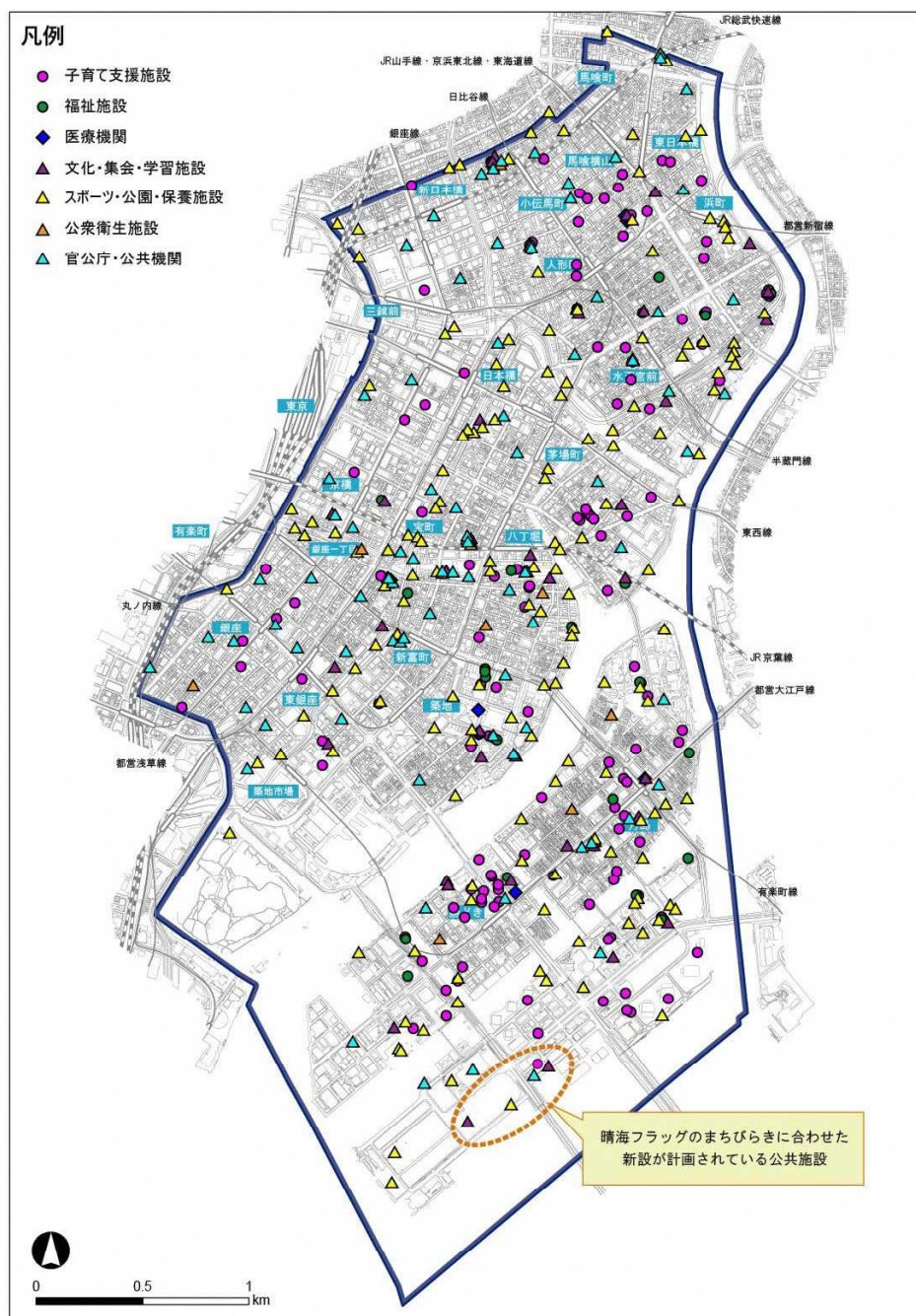
資料：中央区商店街振興プラン 2016（中央区、平成 28 年）

図 14 中央区内の商店街分布

2.1.4 施設分布

(1) 公共施設分布図

- 公共施設は区内全域に分布しています。
- 京橋地域には官公庁・公共機関が多く分布していますが、子育て支援施設はあまり多くありません。
- 一方、月島地域には、これらの施設の分布が多く見られており、対照的な分布傾向となっています。
- 晴海には、晴海フラッグのまちびらきに合わせた公共施設の新設が計画されています。

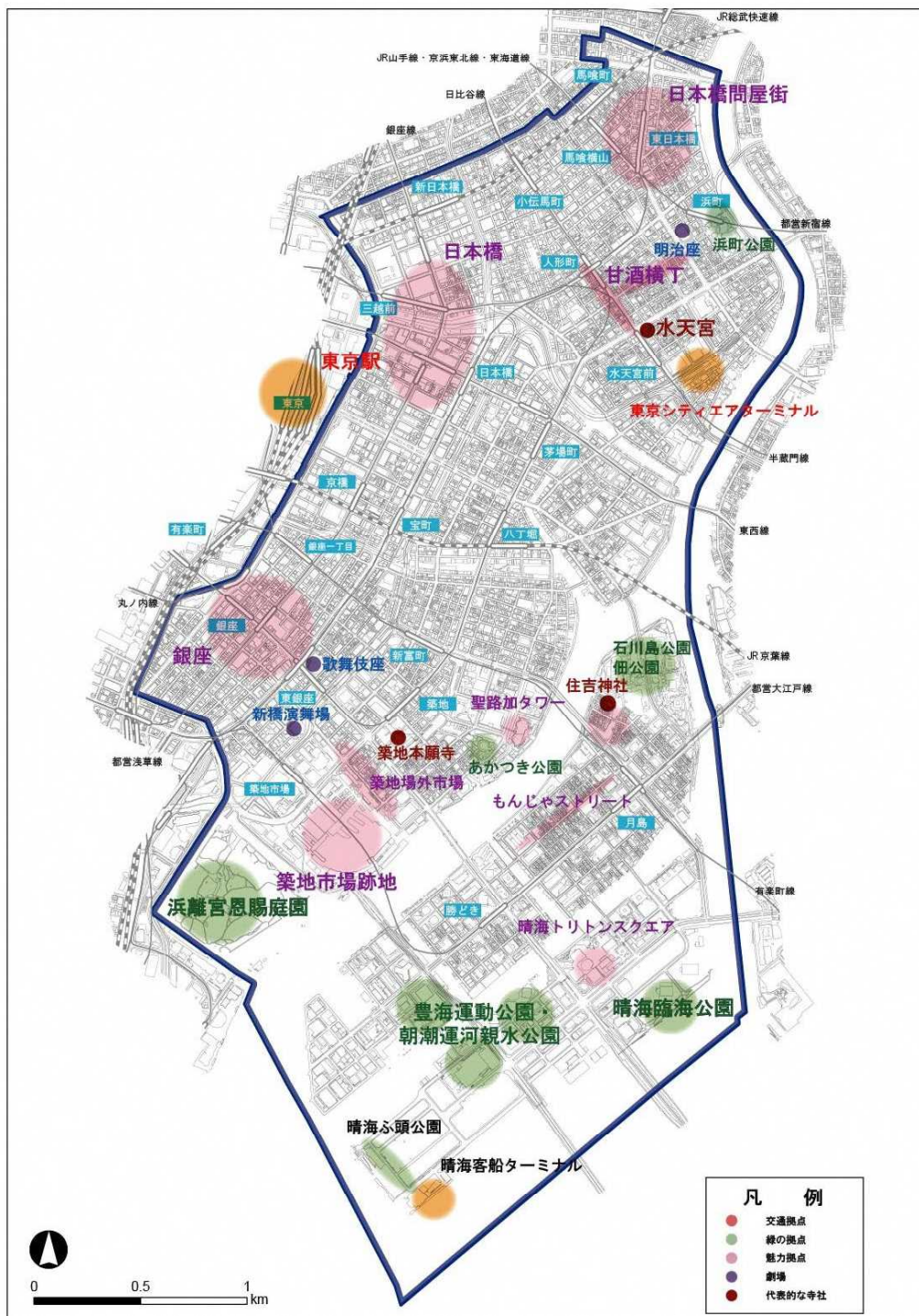


資料：ちゅうおうナビ（中央区）（●年●月●日時点）を基に作成

図 15 中央区内の施設分布図

(2) 観光施設、文化施設の分布

- 銀座、日本橋、築地場外市場、日本橋問屋街、浜離宮恩賜庭園、もんじゃストリート、晴海トリトンスクエア等の観光施設が分布しています。
- 歌舞伎座や明治座、新橋演舞場など伝統ある劇場をはじめ、映画館や美術館などの文化施設が集積しています。また、史跡・旧跡や歴史的建造物などの文化遺産も多数存在しています。
- 浜離宮恩賜庭園などのほか区内の主要公園を緑の拠点として位置付けています。



資料：ちゅうおうナビ（中央区）（●年●月●日時点）を基に作成

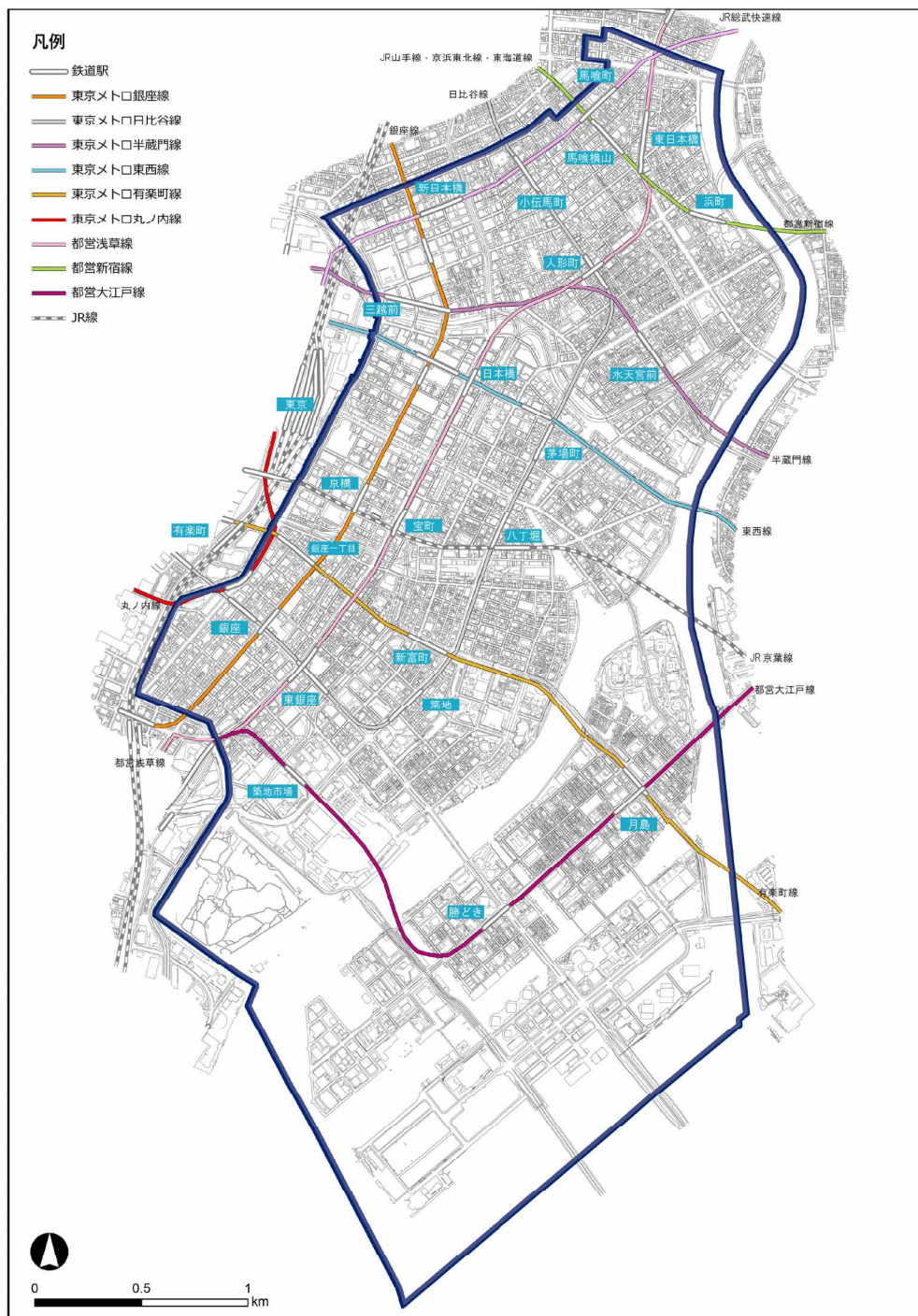
図 16 中央区内の観光施設・地域分布

2.2 区内の交通

2.2.1 鉄道

(1) 路線網

- 鉄道はJR 東日本、東京地下鉄、都営地下鉄の3事業者11路線(28駅)が運行しています。
- 区内全域を網の目のように運行していますが、晴海や豊海町などには鉄道の路線網は見られません。

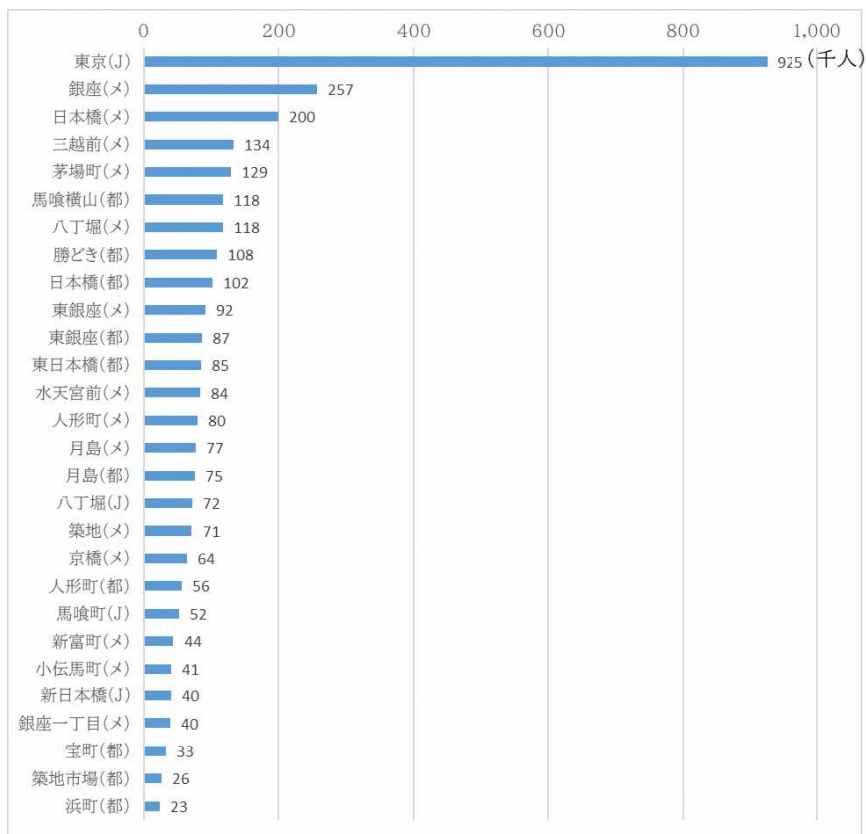


資料：国土数値情報 鉄道データ（国土交通省、令和元年（2019）年）を基に作成

図 17 中央区内の鉄道路線と鉄道駅

(2) 乗降客数

- 駅別の一日当たりの乗降客数は、東京駅(92万5千人)が最も多く、次に銀座駅(25万7千人)、日本橋駅(20万人)が多くなっています。
- 一駅当たりの乗降客数は、概ね増加傾向にあります。月島地域では特に勝どき駅の乗降客数が大きく増加しています。



資料：各鉄道事業者のホームページにおける2019年度の乗降人員を基に作成

図 18 鉄道駅の一利用者数

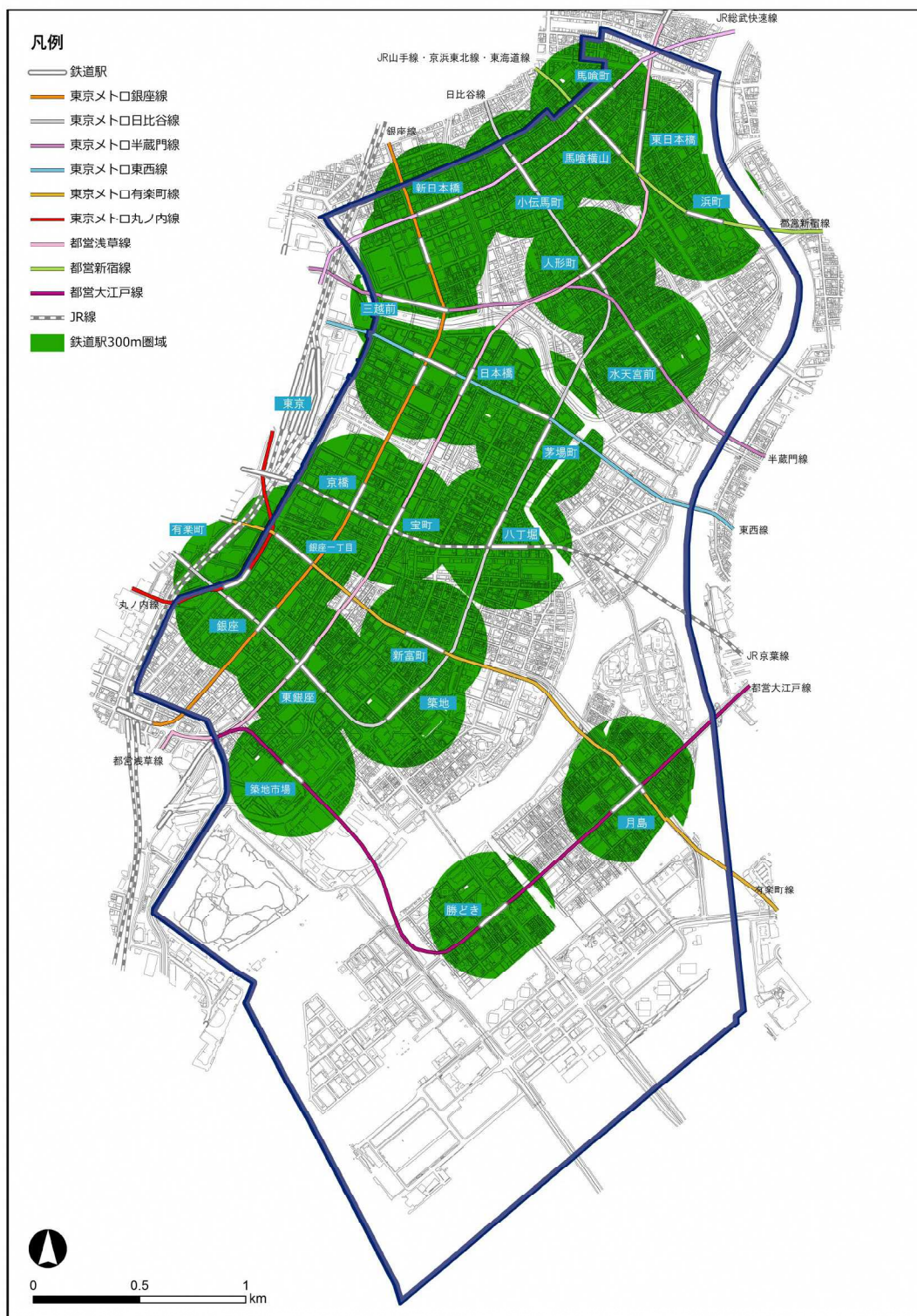


資料：乗降人員一覧 2019年4月~2020年3月（東京都交通局）（最終閲覧日●年●月●日時点）を基に作成

図 19 勝どき駅の乗降客数

(3) 駅勢圏

- 鉄道の駅勢圏は、通常 500m~1 kmとされていますが、高齢者や子供・子育て世代など交通弱者の利便性を考慮し、本計画では 300mとしています。
- 主に隅田川沿い、豊海町及び晴海の全体が駅勢圏から外れています。

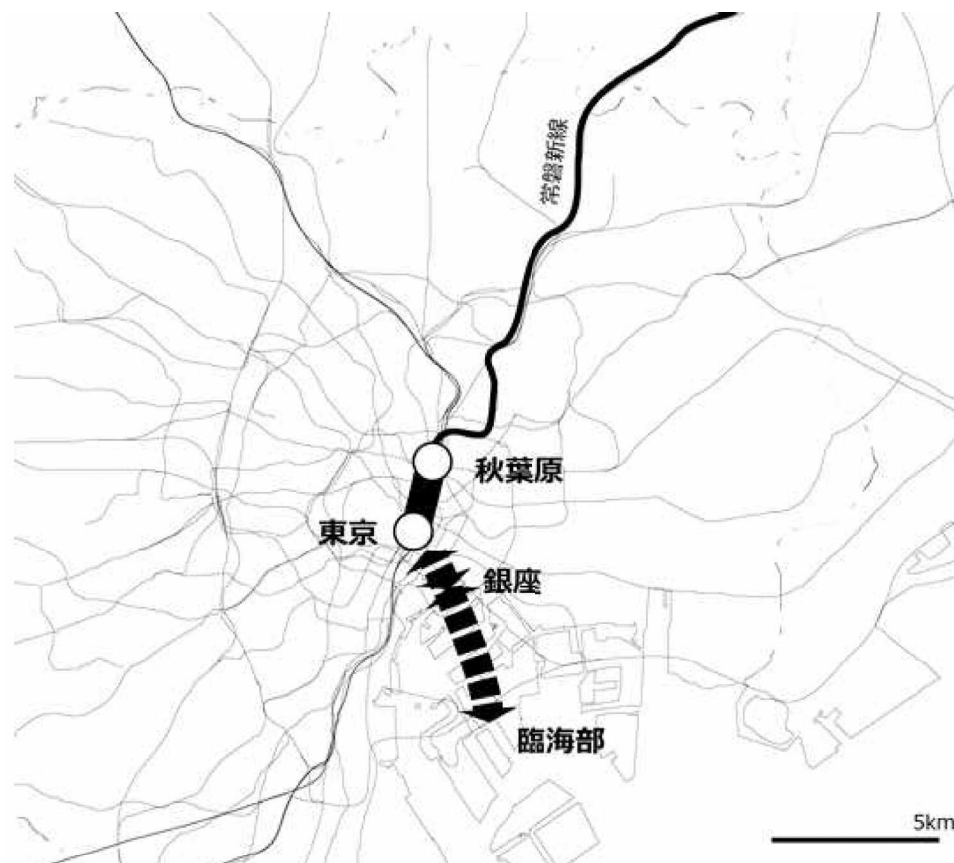


資料：国土数値情報 鉄道データ（国土交通省、平成 30 年（2018）年）を基に作成

図 20 鉄道の駅勢圏（300m）

(4) 構想路線

- 平成 28 年(2016 年)4 月の交通政策審議会答申で都心部・臨海地域地下鉄構想の新設および同構想と常磐新線延伸の一体整備が位置付けられています。
- 国際競争力強化の拠点である都心と臨海副都心とのアクセス利便性の向上や山手線等の混雑の緩和が期待されています。



資料：東京圏における今後の都市鉄道のあり方について（答申）（交通政策審議会、平成 28 年 4 月）

図 21 地下鉄構想路線

(5) バリアフリー化状況

- 区内の鉄道駅は、東京駅を除きすべて地下駅となっており、バリアフリーの確保は重要となります。
- 「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律(バリアフリー法)」が平成 18(2006)年に施行されたことで、各鉄道事業者によるエレベーター等の整備が進められています。令和 3(2021)年 1 月現在、28 駅中 27 駅において地上からホームまでのバリアフリー動線が確保されている一方、バリアフリー未対応の駅が 1 駅残っています。
- ホームドアの設置については、令和 3(2021)年 1 月現在、区内の鉄道駅 28 駅中 15 駅において完了しています。

表 3 区内各駅のバリアフリー化状況

鉄道事業者名	駅名	路線名	バリアフリー経路※1	ホームドア設置状況※2
東京地下鉄	1 三越前	銀座線	○	○
		半蔵門線		○
	2 日本橋	銀座線	○	○
		東西線		○
	3 京橋	銀座線	○	○
		銀座線		○
	4 銀座	丸ノ内線	○	○
		日比谷線		×
	5 小伝馬町	日比谷線	○	×
	6 人形町	日比谷線	○	×
		日比谷線		×
	7 茅場町	東西線	○	×
		東西線		×
	8 八丁堀	日比谷線	○	×
9 築地	日比谷線	○	×	
10 東銀座	日比谷線	○	×	
11 銀座一丁目	有楽町線	×	○	
	有楽町線		○	
12 新富町	有楽町線	○	○	
13 月島	有楽町線	○	○	
14 水天宮前	半蔵門線	○	×	
都営地下鉄	15 東銀座	浅草線	○	×
	16 宝町	浅草線	○	×
		浅草線		×
	17 日本橋	浅草線	○	×
	18 人形町	浅草線	○	×
	19 東日本橋	浅草線	○	×
	20 馬喰横山	新宿線	○	○
	21 浜町	新宿線	○	○
	22 築地市場	大江戸線	○	○
	23 勝どき	大江戸線	○	○
24 月島	大江戸線	○	○	
JR東日本	25 東京	各線	○	×
	26 新日本橋	総武線	○	×
	27 馬喰町	総武線	○	×
	28 八丁堀	京葉線	○	×

※1 バリアフリー経路（ホーム～地上間における垂直移動施設を用いた移動経路）の確保について

○：駅に乗り入れる全路線で確保 ×：駅に乗り入れる全路線で確保されていない

※2 ホームドア設置状況について

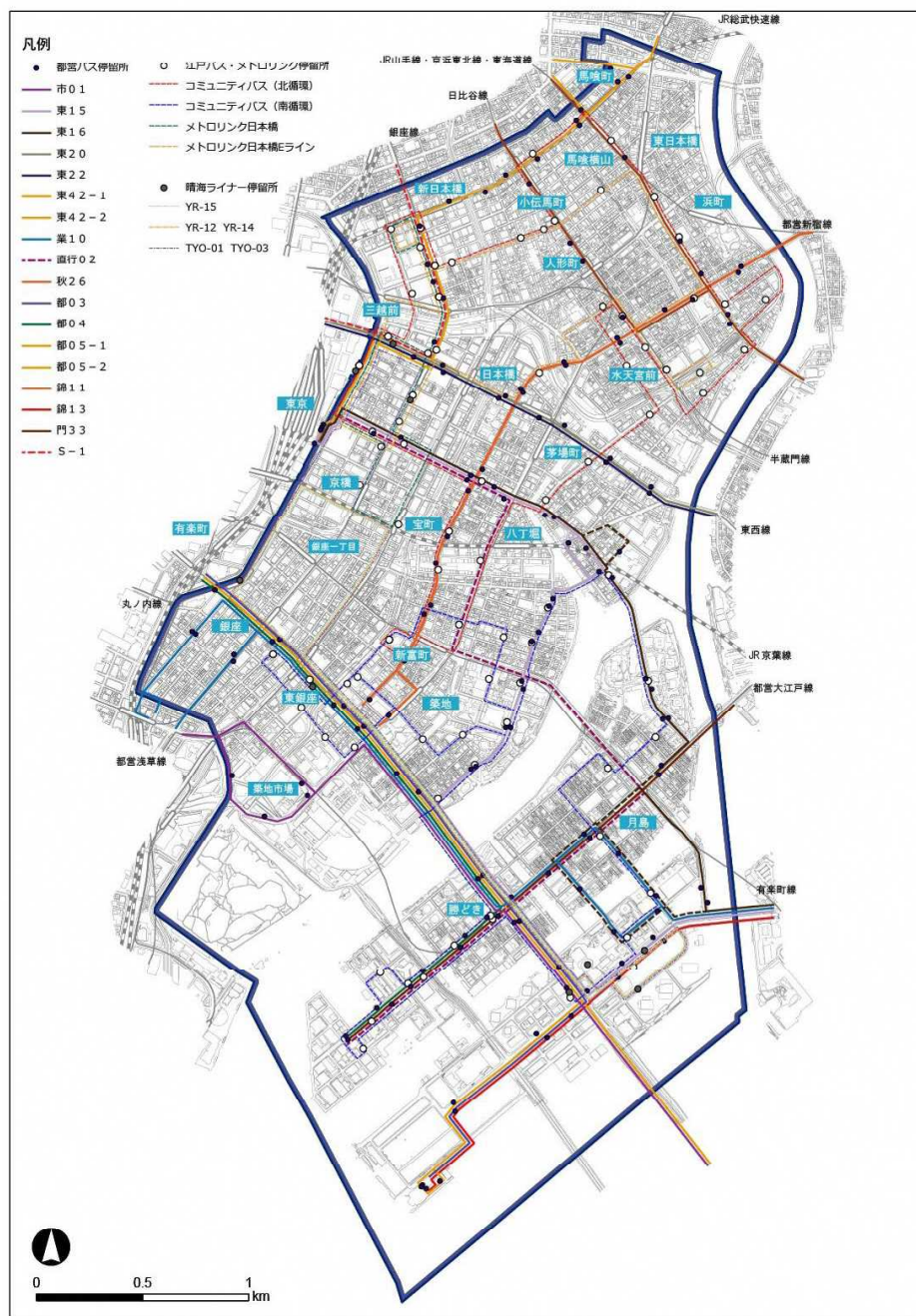
○：設置済み ×：未設置

資料：鉄道駅におけるエレベーター等設置状況調査票 2021年1月現在（中央区、2021年1月）

2.2.2 バス・BRT

(1) 路線網

○ バス交通は、都営バス(18系統)のほか、コミュニティバス(江戸バス北循環・南循環)やメトロリンク日本橋及びメトロリンク日本橋Eライン、晴海ライナーが運行しています。



資料:都営バス)都バス路線案内 みんなのガイド 2020年4月版(都営交通、2020年4月)、東京都交通局 バス関連情報(GTFS-JP形式)(公共交通オープンデータセンター)(●年●月●日時点)を基に作成
 江戸バス)中央区コミュニティバス 江戸バスマップ 桜だより編 令和2年1月版(中央区、令和2年1月)を基に作成
 メトロリンク)HINOMARU LIMOUSINE 無料巡回バス メトロリンク日本橋・メトロリンク日本橋Eライン 運行ルート(日の丸リムジングループ)(●年●月●日時点)を基に作成
 晴海ライナー)晴海ライナーリアルタイム位置情報(日立自動車交通株式会社)(●年●月●日時点)

図 22 中央区内のバス路線

(2) 運行状況

- 都営バスの運行本数は、東西方向の晴海通りと八重洲通り、清澄通りが多くなっています。特に、晴海通りの運行本数が多く、ピーク時の東京、新橋方面は概ね1分10秒間隔(7時台に54本/時)で運行されています。
- 区が運行するコミュニティバス(江戸バス)は、北循環と南循環の2路線で、20分間隔で運行されています。
- 日の丸リムジンが運行する八重洲、京橋、日本橋を結ぶ、無料巡回バス「メトロリンク日本橋」は約10分間隔、浜町・人形町・兜町エリアを結ぶ無料巡回バス「メトロリンク日本橋Eライン」は約22分間隔で運行されています。
- 日立自動車交通が運行する晴海ライナーは晴海と有楽町を結び、概ね15分から30分間隔で運行されています。

表4 中央区内各路線バスの系統、起終点および運行本数

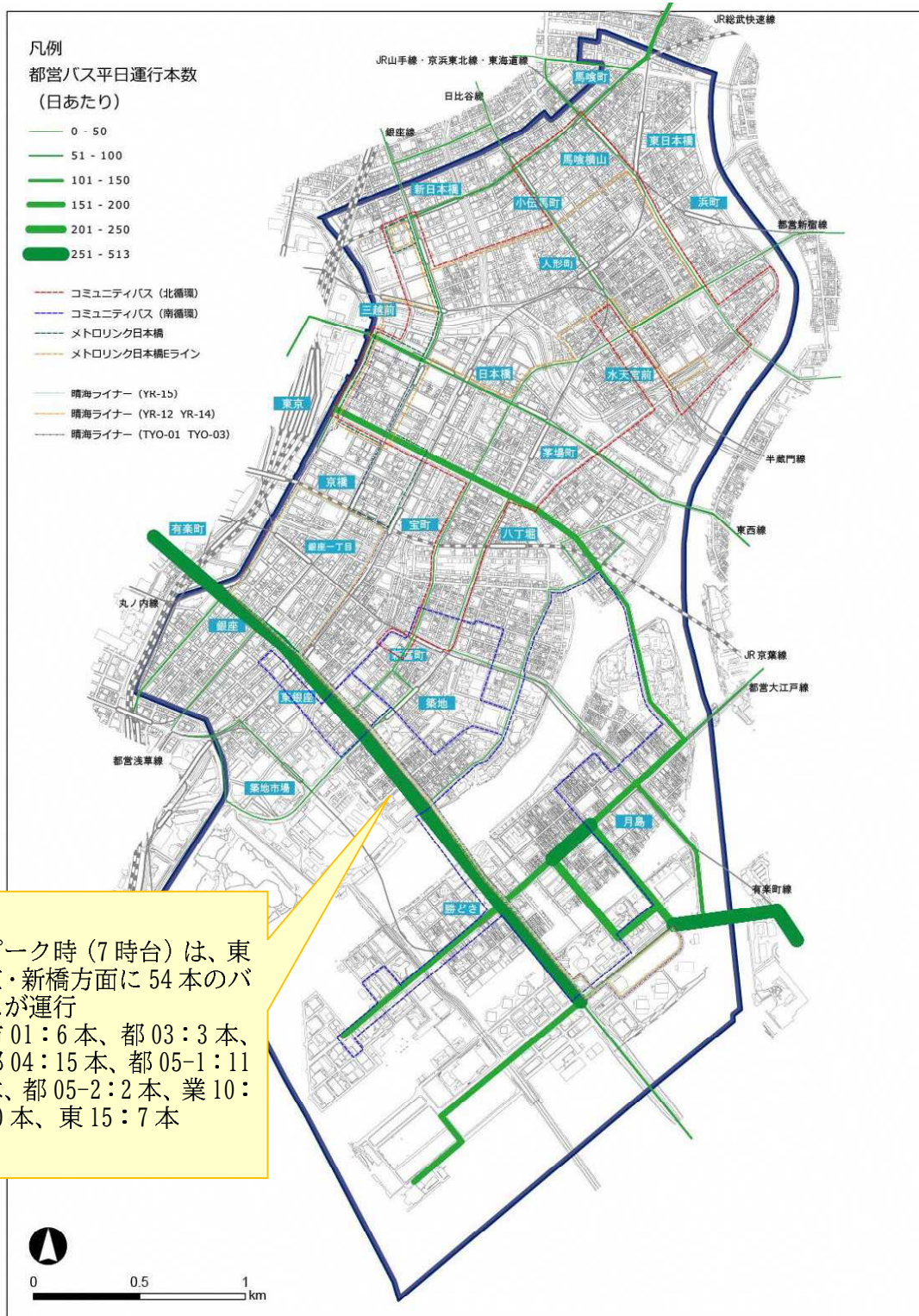
名称	系統	起点	主な経由地	終点	起点→終点			
					平日	土曜	休日	平日 ピーク時 (7時台)
都バス	市01	新橋駅前	勝どき駅前	豊洲市場 市場前駅	42	37	0	6
	S-1	東京駅丸の内北口 上野松坂屋前	浅草雷門	錦糸町駅前	0	4	4	0
	直行02	豊海水産埠頭	月島三丁目・亀島橋	東京駅八重洲口	4	0	0	1
	都03	晴海埠頭	銀座四丁目	四谷駅	23	15	14	3
	都04	豊海水産埠頭	銀座四丁目	東京駅丸の内南口	126	109	97	15
	都05-1	晴海埠頭	銀座四丁目	東京駅丸の内南口	117	101	97	11
	都05-2	東京ビッグサイト	銀座四丁目	東京駅丸の内南口	56	54	52	2
	業10	新橋	豊洲駅前・木場駅前・菊川駅前	とうきょうスカイツリー駅前	69	61	54	8
			豊洲駅前	深川車庫前	35	25	23	0
	錦11	亀戸駅前 錦糸町駅前	新大橋	築地駅前	17	14	10	2
					30	27	27	4
	錦13	錦糸町駅前	東陽三丁目	晴海埠頭	50	49	33	5
	東15	深川車庫前	東雲都橋	東京駅八重洲口	45	40	36	6
	東16	東京駅八重洲口	八丁堀	住友ツインビル	4	0	0	0
			月島駅前	豊洲駅前	12	0	0	4
				深川車庫前	48	16	15	5
				有明一丁目	6	4	5	0
				東京ビッグサイト	59	61	57	1
	東20	東京駅丸の内北口	東京都現代美術館	錦糸町駅前	15	16	18	0
	東22	錦糸町駅前	東陽町駅前	東京駅丸の内北口	55	44	33	5
東42-1	南千住駅西口 南千住車庫前	浅草橋	東京駅八重洲口	25	21	10	3	
				12	21	28	0	
東42-2	南千住駅西口 南千住車庫前	浅草橋	東神田	34	17	11	7	
				35	26	22	1	
秋26	葛西駅前	浜町中の橋	秋葉原駅前	50	39	41	8	
門33	亀戸駅前	清澄白河駅前	豊海水産埠頭	69	55	43	9	
江戸バス	北循環	中央区役所	八丁堀・東京駅・小伝馬町・浜町・新川(循環)	中央区役所	36	36	33	3
	南循環	中央区役所	明石町・佃・晴海・豊海・勝どき・新富(循環)	中央区役所	36	36	33	3
日の丸 リムジン	メトロリンク 日本橋	東京駅八重洲口	JR新日本橋駅・地下鉄宝町駅	東京駅八重洲口	60	60	60	0
	メトロリンク 日本橋Eライン	東京駅八重洲口	富沢町・地下鉄水天宮前駅・日本橋2丁目	東京駅八重洲口	30	30	30	0
晴海 ライナー	YR-15	晴海トリトンスクエア	東銀座駅・有楽町駅	晴海トリトンスクエア	1	0	0	0
	YR-12,YR-14	晴海トリトンスクエア	東銀座駅・有楽町駅	晴海トリトンスクエア	10	0	0	4
				晴海二丁目	4	1	1	0
	TYO-01,TYO-03	晴海トリトンスクエア	東銀座駅・有楽町駅	晴海トリトンスクエア	0	8	8	0
			晴海二丁目	29	18	18	0	

資料：都営バス) 都バス運行情報サービス 時刻表を見る (東京都交通局) (●年●月●日時点) を基に作成

江戸バス) 江戸バス時刻表(北循環) H.24.7.14 改訂(中央区、平成24年7月)、江戸バス時刻表(南循環) H.24.7.14 改訂(中央区、平成24年7月) を基に作成

メトロリンク) HINOMARU LIMOUSINE 無料巡回バス メトロリンク日本橋・メトロリンク日本橋Eライン 運行時間(日の丸リムジングループ) (●年●月●日時点) を基に作成

晴海ライナー) 晴海ライナー停留所別時刻表(日立自動車交通株式会社) (●年●月●日時点)



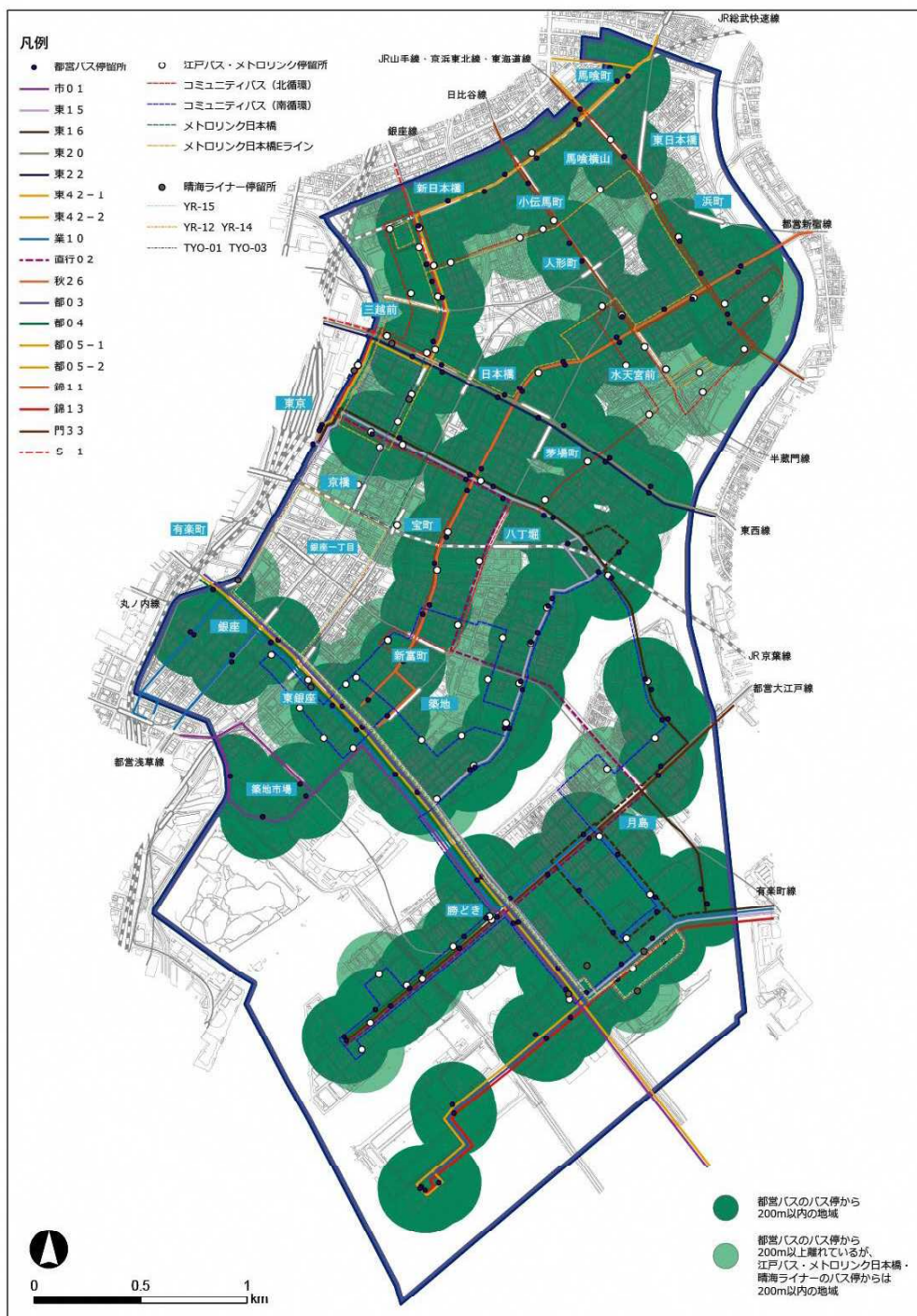
ピーク時 (7時台) は、東京・新橋方面に 54 本のバスが運行
市 01 : 6 本、都 03 : 3 本、
都 04 : 15 本、都 05-1 : 11 本、
都 05-2 : 2 本、業 10 : 10 本、東 15 : 7 本

資料：都営バス) 都バス運行情報サービス 時刻表を見る (東京都交通局) (●年●月●日時点) を基に作成
江戸バス) 江戸バス時刻表 (北循環) H.24.7.14 改訂 (中央区、平成 24 年 7 月)、江戸バス時刻表 (南循環) H.24.7.14 改訂 (中央区、平成 24 年 7 月) を基に作成
メトロリンク) HINOMARU LIMOUSINE 無料巡回バス メトロリンク日本橋・メトロリンク日本橋 E ライン 運行時間 (日の丸リムジングループ) (●年●月●日時点) を基に作成
晴海ライナー) 晴海ライナーリアルタイム位置情報 (日立自動車交通株式会社) (●年●月●日時点)

図 23 中央区バス運行本数 (平日)

(3) 圏域

○ バスの圏域を 200mとした場合、京橋二丁目から銀座二丁目にかけて、日本橋本町や日本橋室町の一部、月島一丁目や晴海の一部などに圏域外となる地域があります。



資料: 都営バス) 都バス路線案内 みんなのガイド 2020年4月版 (都営交通、2020年4月)、東京都交通局 バス関連情報(GTFS-JP形式) (公共交通オープンデータセンター) (●年●月●日時点)
 江戸バス) 中央区コミュニティバス 江戸バスマップ 桜だより編 令和2年1月版 (中央区、令和2年1月)
 メトロリンク) HINOMARU LIMOUSINE 無料巡回バス メトロリンク日本橋・メトロリンク日本橋Eライン 運行ルート (日の丸リムジングループ) (●年●月●日時点) を基に作成
 晴海ライナー) 晴海ライナーリアルタイム位置情報 (日立自動車交通株式会社) (●年●月●日時点)

図 24 バス停 200m圏域

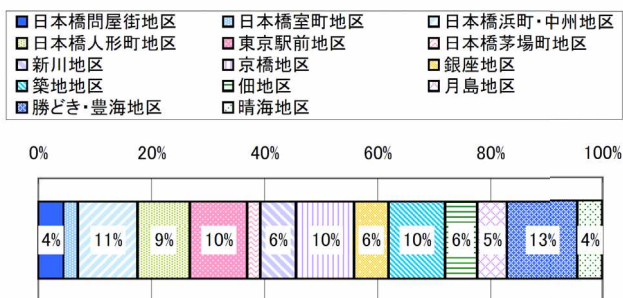
(4) コミュニティバスの運行ルートに対する要望（参考）

- 江戸バスの利用者アンケートによると、運行仕様・運行環境のうち「運行ルート」が最も重要視されており、改善要望として、「逆廻りルートも運行してほしい」との意見が最も多くなっています。
- 運行してほしい地区については、乗車を希望する地区は「勝どき・豊海地区」の回答が最も多く、次いで「日本橋浜町・中洲地区」が続いています。
- 降車を希望する地区は「銀座周辺」との回答がどの居住地区でも最多となっています。

問10(1) 運行してほしい地区
乗車

地区	回答数(人)	シェア
日本橋問屋街地区	27	4%
日本橋室町地区	16	3%
日本橋浜町・中洲地区	65	11%
日本橋人形町地区	57	9%
東京駅前地区	62	10%
日本橋茅場町地区	14	2%
新川地区	39	6%
京橋地区	63	10%
銀座地区	38	6%
築地地区	61	10%
佃地区	35	6%
月島地区	32	5%
勝どき・豊海地区	78	13%
晴海地区	27	4%
合計	614	100%

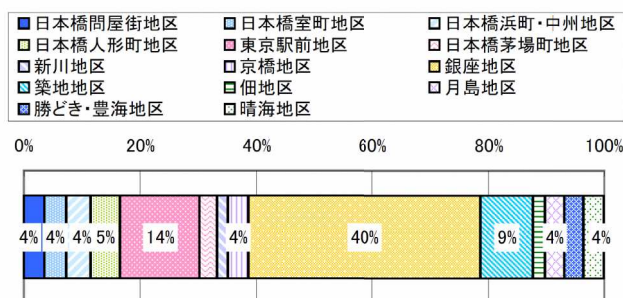
問10 運行してほしい地区(乗車)



降車

地区	回答数(人)	シェア
日本橋問屋街地区	21	4%
日本橋室町地区	23	4%
日本橋浜町・中洲地区	25	4%
日本橋人形町地区	30	5%
東京駅前地区	82	14%
日本橋茅場町地区	18	3%
新川地区	11	2%
京橋地区	21	4%
銀座地区	239	40%
築地地区	54	9%
佃地区	12	2%
月島地区	21	4%
勝どき・豊海地区	20	3%
晴海地区	21	4%
合計	598	100%

問10 運行してほしい地区(降車)



資料：コミュニティバスの運行ルートに関するアンケート結果（中央区、平成 25 年）

図 25 コミュニティバスを新たに運行してほしい地区（居住地別）

(5) BRTの運行ルート

- BRT(Bus Rapid Transit)は、接続バスの採用、走行空間の整備等により、従来のバス交通に比べて高い輸送力・定時性・速達性の確保を可能にした、バスをベースとする交通システムを指します。
- 開発による人口の増加が見込まれる臨海地域と都心とを結ぶため、東京 BRT の運行が段階的に進められています。
- 環状第2号線地上部道路開通後からプレ運行(一次)を開始し、東京 2020 大会後に系統を増やしたプレ運行(二次)が行われる予定です。さらに、令和 4 年度以降に本格運行の開始が予定されています。



図 26 BRT 車両のイメージ

資料：都心と臨海地域とを結ぶ東京BRTについて（東京都都市整備局ホームページ）



資料：都心と臨海地域とを結ぶ東京BRTについて（東京都都市整備局ホームページ）

図 27 BRT 運行ルート（プレ運行（一次））

プレ運行 (二次) (東京2020大会後)



資料：都心と臨海地域とを結ぶ東京BRTについて（東京都都市整備局ホームページ）

図 28 BRT 運行ルート（プレ運行（二次））



資料：都心と臨海地域とを結ぶ東京BRTについて（東京都都市整備局ホームページ）

図 29 BRT 運行ルート（本格運行時）

表 5 新橋～勝どき BRT 間の運行便数と輸送力（片道）（プレ運行（一次））

	平日ピーク時 （1時間当たり）	平日日中及び土休日 （1時間当たり）
片道運行基本便数※	6便程度	4便程度
輸送力	450人程度	300人程度

資料：都心と臨海地域とを結ぶ東京 BRT について（東京都都市整備局ホームページ）

表 6 新橋～勝どき BRT 間の運行便数と輸送力（片道）（本格運行時）

	平日ピーク時 （1時間当たり）	平日日中及び土休日 （1時間当たり）
片道運行基本便数※	20便程度 内訳（予定） 幹線ルート6便 晴海・豊洲ルート6便 勝どきルート2便 選手村ルート6便	12便程度 内訳（予定） 幹線ルート6便 晴海・豊洲ルート6便
輸送力	2,000人程度	1,200人程度

※（東京都）交通状況や需要等を考慮しながら適切な運行頻度・便数を検討します。
また、一部区間を運行する便や、途中停留施設を通過する急行便の運行を検討します。

資料：都心と臨海地域とを結ぶ東京 BRT について（東京都都市整備局ホームページ）

